



個人的な意見 企業の理想の環境

令和7年3月12日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

企業を社員が所有し、公正さにおける給与の均一性において、企業経営を社員が共有し、行う。

社員の能力を最大限企業が許容し、時代という新しい可能性への参加を行う。

社会市民としての企業の責任は、社会との共生を、ゼロミッション、サーキュラーエコノミー、環境サステナブル企業として、新しい基準における企業経営を提案する。

男女平等参加における組織の構築は、優れた就業環境とともに、その独創性と創造性を実現する。

これらは効率性と生産性を追求し、創造性と独創性を自己とする。

世界における先端の技術基準は、その企業の安定した経営を与える正しい基盤である。

多様な企業の理想と目的への参加は、時代をけん引することを、独創性とともに実現する。

それらは優れた知性とソフト資産の蓄積が、企業経営と製品サービスを実現することにおいて、社員の高い意識と理解がこれら現実の構築を可能とできるものである。

優れた社員福利とともに、より優れた就業環境を求め、就業における要求は、最も厳しい基準において社員の参加を求める。

これらは世界と未来への参加を得るものであり、創造性という参加は、その先端性を得るものである。

社員一人一人の満足に対して、社員が経営を共有することにおいて、それらの実現を行う。